

前 橋 文 化

比刀祢

70号



— も く じ —

巻頭言

豊かで多様な芸術文化の世界

前橋市文化協会 会長

佐藤 博之

1

協会事業

第11回まえばし和の文化の集い

2

第46回前橋市民芸術文化祭

3

大胡・粕川・富士見支部活動

4

特別寄稿

「日本こども歌舞伎まつり」に参加して

日本舞踊部会長
(美登利会代表)

若柳

吉駒

5

ふれあい体験事業

茶道／華道／バレエ／邦楽／日本舞踊／吟剣詩舞道／民謡民舞／八木節／漢詩／居合道／日本の名曲を踊る… 6

令和6年度ふれあい体験教室開催予定… 8

☆令和5年度役員等名簿… 9

☆令和5年度賛助会員名簿… 10

☆令和5年度第58回前橋市民展覧会入賞者一覧… 11

☆第47回前橋市民芸術文化祭開催予定一覧・お知らせ・新入会員紹介・編集後記・比刀祢編集委員

明 説 紙 表

令和4年より再開された茶会ですが、コロナ禍がまだまだ心配でしたのでマスクをかけて令和5年度も安全第一に気をつかって行われました。

長谷川翔雪

撮影者…宮崎翠光(記録部長)

場 所…臨江閣本館一階

「比刀祢」のいわれ

「都よりかへりくるまの里人は、ひとねがはをば渡らざらなむ」(夫木和歌抄)今の利根川の流れに対し、元の流れすなわち、今の広瀬川を「比刀・祢川」といった。この流れは前橋文化の源流ともいえよう。いよいよの発展を願い名付ける。

(昭和57年3月1日発行「比刀祢」創刊号より)

令和5年5月に文化協会の会長を拝命いたしました。文化協会会員の皆様はじめ、前橋の芸術文化を担いその発展にご尽力をいただいている皆様に心から敬意を表するとともに、今後ともご支援・ご協力をお願い申し上げます。

や運営体制などの再確認が必要な時期であることも感じられました。また、鑑賞会や体験活動への参加などからやや遠のいていた市民の皆さんへの働きかけについても多大なご協力をいただきました。こうした復帰への筋道をたどりながら、

演舞の中にあつたチャイコフスキーのバレエ「眠りの森の美女」。物語は子供の頃から親しんだグリム童話の「いばら姫」の類型、そしてチャイコフスキー作曲「眠りの森の美女」は高校生の頃からレコードがすり切れるほど聞いていまし

には表現の深淵と感動がありました。かつて、物語が「語られないこと」に驚いた覚えが…。
○「和の文化のつどい」
日本舞踊では、舞いや身振りや手振り、表情の微細な変化を通じて、喜び、悲しみ、怒り、恐れなどの感

の歴史、恋人たちへの物語を手指はもろろん全体全体を使い、豊かに物語を語りあげます。「フラ」以外にも、多くの芸能や表現芸術の世界で「言葉にならない言葉」が豊かな文化表現を生み出していると感じています。

終わりに

コロナに苛まれたこの3年余りでしたが、ようやく日常の活動が戻ってこようとしています。2023年は、多くの希望と模索を乗せての活動の年となりました。そして、会員の皆様の活動を通して、前橋の芸術文化の多様さ、深さ、幅の広さなど、これまでの



豊かで多様な芸術文化の世界

前橋市文化協会 会長

佐藤 博之



音楽評論家で深い造詣や透徹した芸術論で戦後日本の先導的な役割を果たした吉田秀和氏の言葉を紹介し、前橋文化協会を目指すところとしていきたいと思

「芸術文化は人間が生活し、生活を愛し、少しでもそれを居心地の良いものにしようと努力する人間のいるところ、どこにも生まれ

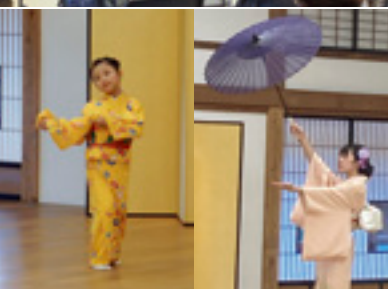
てくる可能性を持つている。…芸術は生活を飾る花、余裕があつてはじめて生まれるものと考え、人は多いけれど、それは逆。芸術は生活の根なのです。」

歴史と情熱に裏付けられた豊かな世界を実感した年でもありました。こうした中で今年は市民芸術祭での充実した発表や意欲的な体験教室等の活動が活発に展開されました。喜び、安堵感が戻ってくるのと同時に、自分たちの活動の立ち位置

文化協会自体の立ち位置や活動の在り方についても今後ともご意見・ご要望等を寄せていただければと思います。
○今年の芸術文化祭から…
物語（言葉）の表現と非言語表現
○前橋洋舞フェスティバル

た。その物語と音楽に「バレエ（舞踊）」が加わる。「物語＋音楽＋舞踊」の深く豊かな表現の世界に改めて魅了されました。バレエはマイムと呼ばれる身振りや手振り、あるいは身体表現で表される「無言化された視覚化された物語」。そこ

情や自然が表現されていました。人間の繊細で豊かな感情や自然界の態様を映し出す日本舞踊の世界に魅了されました。
○「フラ フェスティバル」
文字を持たなかったハワイの人たちが生み出した「フラ」。神への祈りや民族



開会式典の幕が開きました。別館二階180畳の大広間に、市長（前橋市文化協会名誉会長）様、市議会議員様、教育長様、市議会議員の皆様のご臨席をいただき、コロ

別館一階西洋間で華道部会（十二流派）による華道展が、また、本館一階和室、別館一階和室で茶道部会による茶席が始まりました。茶席の運営に当たっては、江戸

密集、密接の状態が生じないように配慮しました。舞台発表部門では、別館二階大広間で、八木節部会、ふじみ竹の会、居合道部会、日本の名曲を踊る部会、邦

詩舞道部会、かすかわ歌吟倶楽部の皆様は、今回が初めての参加であり、その息の合った演奏や吟詠に大きな拍手が送られました。ボランティアガイドによる

た。ご来場くださいました皆様へ感謝申し上げますとともに、本部役員の皆様、関係者の皆様にご心より感謝申し上げます。

第11回

まえばし和の文化の集い

令和5年10月28日（土）、臨江閣を会場に「第11回まえばし和の文化の集い」を開催しました。

ナからの復活2回目となる和の文化の集いが開催できることに改めて感謝したい気持ちになりました。

千家、表千家流、それぞれ70席ずつ、計140席を用意し、一席の入場者数を10名以下に限定した上で茶席の開始時刻と終了時刻を指定することによって、密閉、

楽部会、民謡民舞部会、吟剣詩舞道部会、かすかわ歌吟倶楽部、日本舞踊部会の皆様がそれぞれ見事な演奏や踊り、演舞を披露しました。また、ふじみ竹の会、吟剣

解説ツアーでは、国指定重要文化財の臨江閣を二層深く知る企画として12時と13時の2回実施し、好評を得ました。当日は、700名からの皆様にお越しいただきまし

